



臼杵市 地域おこし協力隊

有機農業研修生 活動報告

3期生(令和2年度卒業生)

左から順に

埼玉県出身

山田 茉利子

臼杵市外に移住予定

京都府出身

林 大悟

臼杵市内で就農予定

大阪府出身

洲崎 敦子

臼杵市内で定住予定



4期生・5期生(現役協力隊員)

左から順に

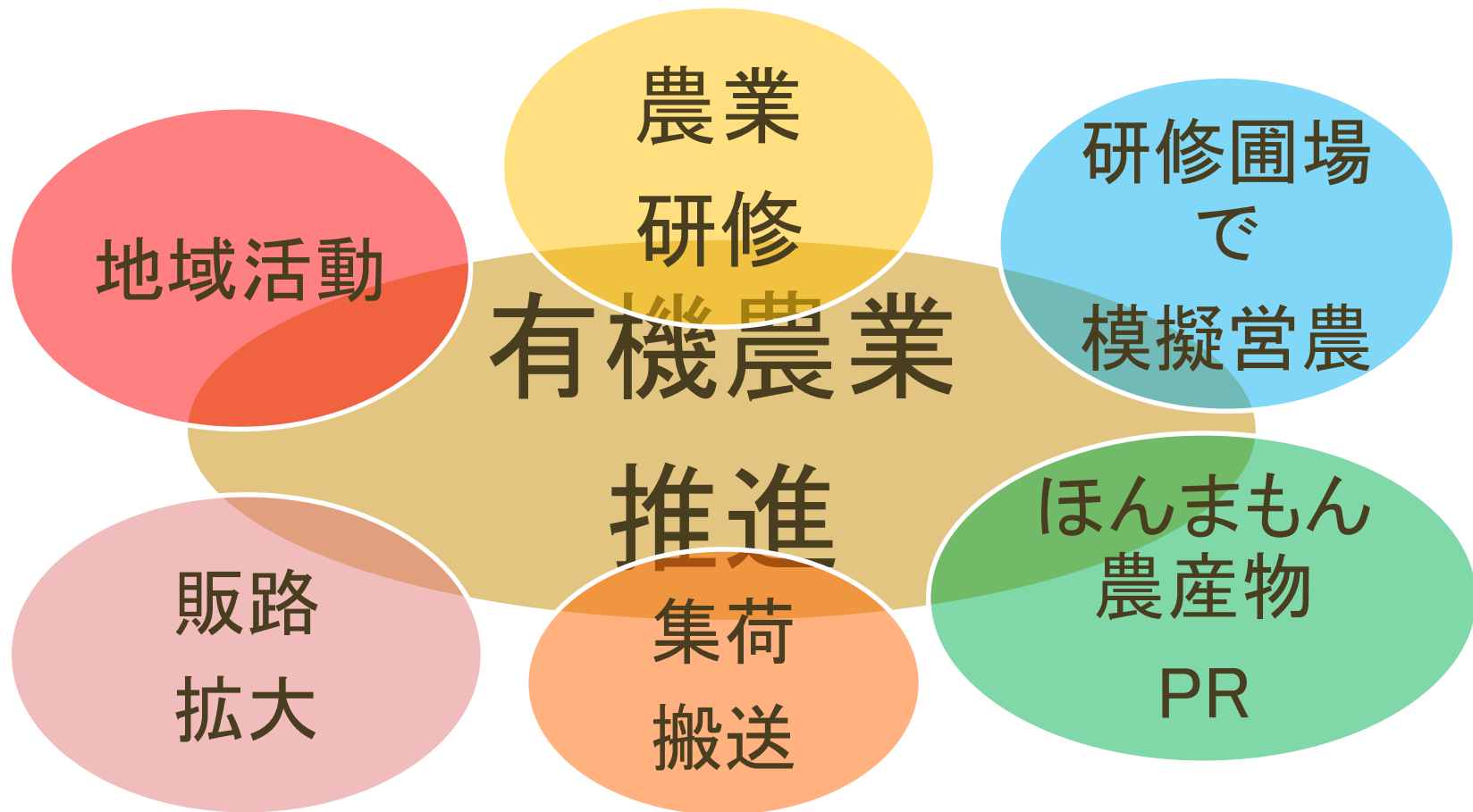
高知県出身
明智 大輔

神奈川県出身
三重野 勇太

東京都出身
飯沼 考太



私たちの任務



農業研修指導者



藤島 裕美 さん

臼杵市野津町で、有機農業を30年以上実践しており、臼杵市が推進する「ほんまもん認証制度」との関係性も強い「ほんまもんネットワーク」の会長も務められています。

有機農業の推進と実践を志す「地域おこし協力隊員」にとっては、活きる情報と経験を直庭させて頂ける、心強い指導者です。

有機農業研修について



- ・ 私達は、長年臼杵市野津町で「有機農業」を実践されている、藤島氏の指導の下、農業に従事しております。
- ・ 指導内容としては、臼杵市野津町で長年培った経験則によるものが多く、まさに活きた「ほんまもん」農業を学ぶ貴重な環境です。
- ・ 協力隊員の中には、初めて農業に触れ合う人もおり、農機具の危険性から有用な使い方、畑での野菜の管理方法から、出荷調整まで。将来農家として、独立を目指した場合、最低限必要な事を教えて頂いております。
また、これらの経験は「農」に関わる生き方に興味がある私達にとって、活きた知恵と経験を得る貴重な機会となっています。

農業研修(実践)

切干大根づくり



収穫した里芋の調整



生産から貯蔵・加工、販売まで、藤島農園では全て行います。それだけ多くの業務を担うには数多くの知識、また、それに伴う生産技術が必要となります。

1日の大半を藤島氏の背中を追、私達も蓄積することで、様々な農業に関わる生きた知識と経験を得る事ができました。

農業研修(育苗準備)

踏み込み温床

落ち葉と有機物を土に混ぜ込むことで、ビニールハウスの温度を上げる方法です。



人それぞれやり方は違いますが、藤島農園では、落ち葉とヌカや油粕、野菜の残差などを混ぜ込む方法を行います。

上手に土中細菌による発酵が進むと、地温が発酵熱により上昇し、30度を超える事も可能です。

可能な限り自然にあるものを有効活用するこの方法は、今後の有機農業にとっては、近年話題となるSDGsに関わる重要な取り組みであると感じます。

農業研修(作付け準備)

種をまき発芽させます



発芽後移植して、ポットにて育苗



藤島農園では、基本的に全ての作物は種をまくか、苗をつくることで、生産コストの削減に努めます。ピーマンやトマトなどの苗を植える作物は、種から一度小さな苗を作り、大きめのポットに移植して丈夫な苗をつくります。

農業研修(畑での管理)



藤島農園では、少量多品目での栽培を行っています。作物によって、管理内容が大きく変わってくるので、様々な管理を効率よく的確に行う必要があります。

ジャガイモには土を寄せたり、トマトは側枝と呼ばれる枝を取ったりなど。少量多品目だからこそ、一つの畑を区切り、様々な作物が共存共栄する環境がつくられます。

農業研修(収穫)



冬季収穫の様子

温暖な気候を利用した、臼杵市での農業では、1年間を通じた栽培が可能です。

季節により大きく異なりますが、厳しい冬の間でも収穫可能な作物があり、農業従事者にとって、貴重な収入源となります。

1年間通じて厳しい作業に追われますが、全国的に温暖な気候を有する臼杵市では、新規就農に適した環境条件が揃っています。

農業研修（収穫・パック詰め）



季節折々の野菜を生産しています。
年間60種類、それだけ多くの苦労がありますが
自分たちが種から育て、地域の皆様の食卓に並べて
頂ける喜びは、次への大きな励みとなりました。



集荷・搬送(大分県内)



- ・大分市 トキハ本店への出荷

毎週3回（火・木・土）
大分市トキハ本店地下2階にある
ほんまもん農産物コーナーに季
節を彩る、臼杵市産のほんま
もん野菜を出荷しています。

- ・臼杵市 給食センター

野津のほんまもん農産物、生産
農家さんから野菜を集荷し、臼
杵市にある給食センターへの配
達を行っています。

ほんまもん農産物の広報活動



大分県内のPR活動として

ほんまもん農産物のPRの目的とした、販促活動をおこないました。

令和2年から始まったコロナ禍による、大幅な活動の制限があるなか、徹底した感染対策の中、2日間にかけて野菜の配布をおこないました。

また、協力隊OBが主となって活動してい「ひやくすた※1」との連携による野菜の販売活動にも参加しました。

まだまだ、コロナによる活動の自粛が続きますが、大分県内での「ほんまもん農産物」の認知度向上に向けて、来年度も精力的に活動していきます。

※1 「ひやくすた」 臼杵市石仏に隣接した広場で、月1度開催しているのほんまもん農産物を中心としたマーケットです。発起人は、地域おこし協力隊OB

ふるさと納税の返礼品



ほんまもん農産物の販促活動の一環として、研修先である藤島農園でのふるさと納税返礼品に使用する野菜の生産・収穫・出荷調整、及び、発送業務の研修を受けました。

コロナ禍でもあり、発送件数は例年に比べ、減少しましたが、非常に有用な販促活動の一つとして、精力的に参加しました。

近年話題となる、SDGsに根差した
臼杵独自の取り組みを伝え続ける。



地域活動 小中学生の農業体験



市内外の収穫体験実習

臼杵市内外の小中学生との収穫体験イベントの様子です。

農業が盛んな地域とはいえ、日頃から土に触れる環境の内子供たちに、農業、特に有機農業の素晴らしさを伝える貴重な機会を頂きました。

将来、私達と同じような志をもって頂ければ幸いと、熱心に心によりそい、共に収穫の喜びを分かち合いました。

自主活動 近隣農家のお手伝い



臼杵市内にあるキュウイ農家にて

ほんまもん農産物として貴重な果物である「キュウイ」その畑での作業風景です。有機農業となると中々難しい果樹ですが、一つ一つ手作業で大事に育てられた「キュウイ」の収穫です。